

「グローバリゼーション4.0」の下でのデジタル社会の考え方

今日のグローバリゼーションの4つのドライバー

- 地球環境の限界
- 地政学リスク
- 格差の拡大
- デジタル技術の急激な拡大

グローバリゼーションは世界規模の成長と発展を創出した一方で、格差拡大の原因にもなり得る。

リーダーたちは過去の失敗から学び、グローバリゼーションの次の波となる「グローバリゼーション4.0」の到来に向け、誰も取り残すことのないかつ包括的な社会を構築し、脆弱なコミュニティを守ることが必要。



世界経済フォーラムレポート「デジタルの未来」(注)が明らかにした6つの優先分野

1. インターネットのアクセスと導入 (Leave no person behind)
2. グッド・デジタル・アイデンティティ (Empower users through good digital identities)
3. 社会へのポジティブなインパクト (Make business work for people)
4. サイバーセキュリティ (Keep everyone safe and secure)
5. 第四次産業革命のガバナンス (Build new rules for a new game)
6. データの取り扱い (Break through the data barrier)

注：2018年12月10日公表 “Our Shared Digital Future: Building an Inclusive, Trustworthy and Sustainable Digital Society”